

水害に備えましょう

近年、大型台風等により大規模水害が発生する危険性が高まっています。水害は、事前に情報を収集して早めに避難することで身を守ることができる災害です。いざというときに落ち着いて行動できるよう、日ごろから水害に対する知識を身につけ、準備しましょう。

問合せ 防災課防災管理係 ☎内線492

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、避難場所の密集回避にご協力を

荒川が氾濫する危険性が高い場合、区では避難場所を開設します。しかし、避難場所に多くの方が避難すると、人が密集する状況が発生し、感染の危険性が高まってしまう。感染拡大を防ぐため、浸水の恐れがない親戚・知人宅等へ

の避難や、自宅の浸水の恐れがない階層への避難等を最優先に考え、避難場所の密集回避にご協力をお願いします。やむをえず避難場所に避難する際は、マスクの着用等、感染予防対策をしましょう。



自宅が浸水するか確認しましょう

荒川が氾濫した場合、区内の大部分が浸水します。「荒川区防災地図（水害版）」等で、事前に想定される浸水の深さと浸水しない階層を確認しましょう。

情報の収集方法を確認しましょう

荒川区ホームページ、荒川区公式ツイッター・フェイスブック、テレビのデータ放送等で、区が発信する避難情報や避難場所の開設情報等を確認できます。テレビのデータ放送はテレビリモコンの **d** ボタンを押すと確認できますので、事前に使い方を確認しましょう。

避難方法・避難場所を確認しましょう

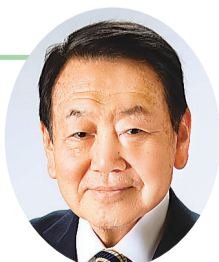
浸水の恐れがある地域に住んでいる方は、避難方法や避難場所を確認しましょう。なお、浸水の恐れがない地域に住んでいる方は、避難は不要です。自宅にとどまりましょう。

- 浸水の恐れがない地域に親戚・知人宅等がある場合は、早めに避難しましょう
- 浸水の恐れがないおおむね3階以上の階層に住んでいる方は、自宅にとどまりましょう
- 上記以外の方は、区が発信する情報に基づき、区が開設する避難場所等へ避難しましょう



4・5面で「水害に備えて日ごろから確認しましょう」を紹介します

▶水害から身を守るために



荒川区長
にしがわ たいいちろう
西川 太一郎

昨年、超大型の台風第19号が上陸した際、区は災害対策本部を設置してその対応に当たりました。その際の教訓を踏まえ、令和2年2月に「荒川区風水害対応方針」を策定し、体制強化を着実に進めてまいります。一方、今年に入り新型コロナウイルスの感染が全国で拡大しております。いまだに感染が収束しない中で、大規模水害が発生した場合、区が開設する避難場所は密集した状態となり、感染リスクが高まること予想されます。大規模化する水害、そして新型コロナウイルスに立ち向かっていくためには、「自助」「共助」「公助」が一体となつて対応していくことが重要です。区民の皆様におかれましては、「自分の身は自分で守る」という「自助」の意識のもと、水害に備えて、日ごろから避難方法や情報収集方法等をご確認ください。そして、水害時には、浸水の恐れがない親戚・知人宅への避難や自宅の浸水の恐れがない階層への避難等を最優先に考え、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、人々の密集が予想される避難場所への避難を可能な限り避けていただきますよう、ご協力をお願いいたします。区は、今後とも区民の皆様のご生命と財産を守る対策を強化して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。